

令和7年度  
県政モニターアンケート調査結果

---

テーマ:「ふくおか教育月間」について

教育庁教育総務部総務企画課

## 1.調査の目的

本県では、県民の皆さんに教育に対する関心と理解を一層深めていただくとともに、家庭、学校及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月を「ふくおか教育月間」と定め、著名人による記念講演や児童生徒の発表などを行う記念イベントの開催や「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」※を活用した啓発チラシの配布をしています。

皆さんの「ふくおか教育月間」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

## 2.調査時期

令和7年8月7日～令和7年9月3日

※ イメージキャラクター「ミライル」とは

これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です。

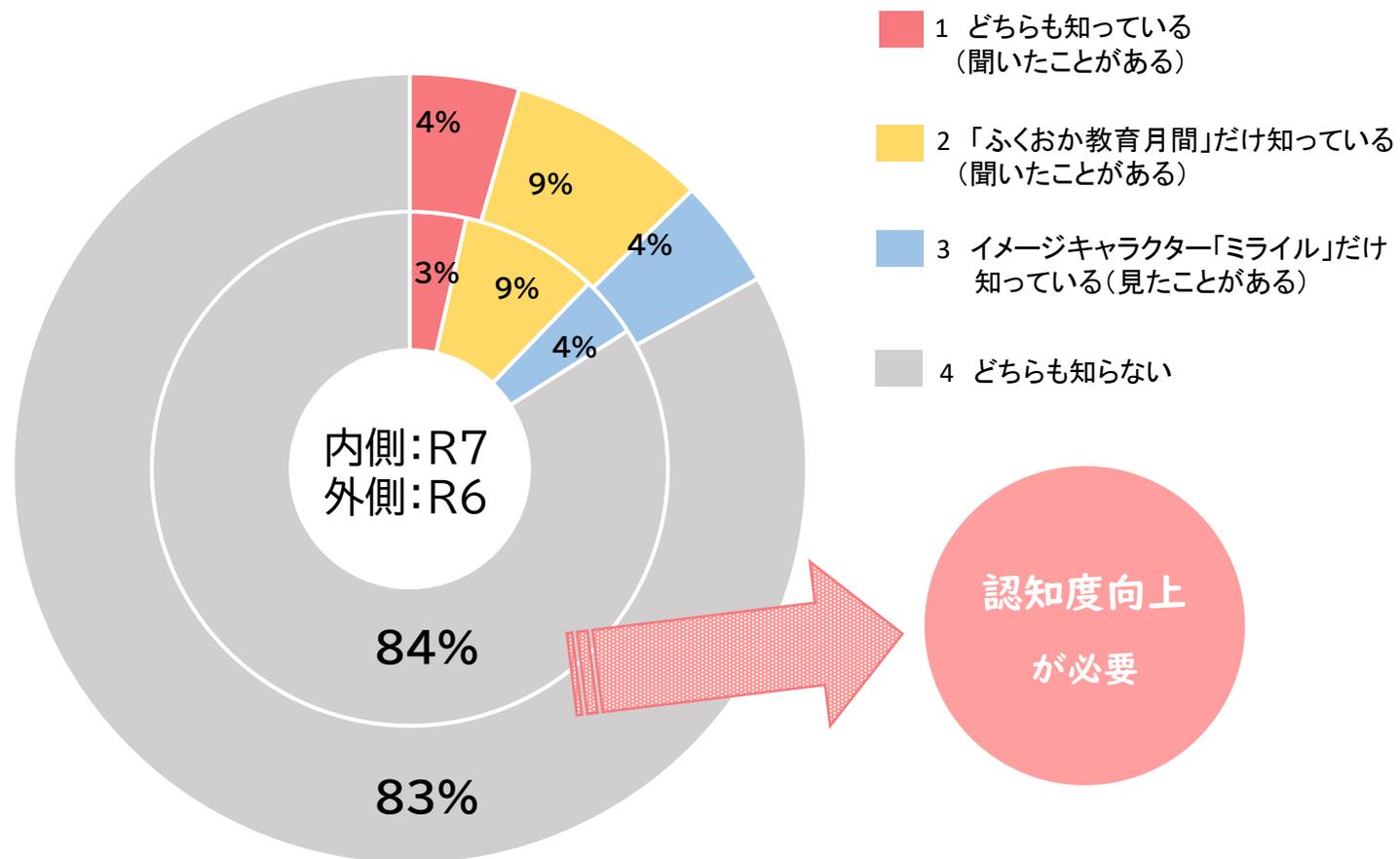
「ミライル」という名前には、笑顔(スマイル)が溢れる未来(ミライ)

に羽ばたいてほしいという願いが込められています。



# 問1 「ふくおか教育月間」やイメージキャラクター「ミライル」を知っていますか。

(n=369、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 どちらも知っている (聞いたことがある)	13人	3%
2 「ふくおか教育月間」だけ知っている (聞いたことがある)	32人	9%
3 イメージキャラクター「ミライル」だけ知っている (見たことがある)	14人	4%
4 どちらも知らない	310人	84%

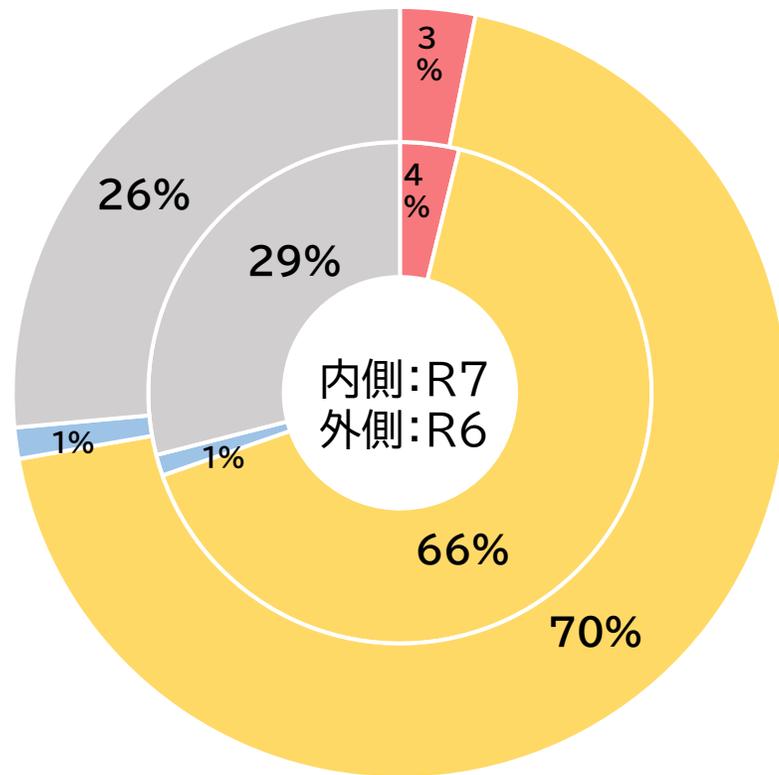
## 問2 どこで知りましたか。

(問1で[1][2][3]を選んだ場合、n=59、複数選択可)

福岡県のホームページ	34人
新聞広告	9人
WEB広告	10人
「ふくおか教育月間」記念行事のポスター・チラシ	17人
フリーペーパー	6人
学校からの案内	7人
家族・知人からの紹介	3人
その他	1人

### 問3 「ふくおか教育月間」記念イベントや、学校や地域における教育に関する行事等に参加したいと思いますか。

(n=369、選択は1つのみ)



- 1 参加したことがあるが、今後は参加したい
- 2 参加したことがないが、今後は参加してみたい
- 3 参加したことがあるが、今後は参加したくない
- 4 参加したことがなく、今後も参加したくない

選択肢	人数	割合
1 参加したことがあるが、今後は参加したい	14人	4%
2 参加したことがないが、今後は参加してみたい	243人	66%
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない	5人	1%
4 参加したことがなく、今後も参加したくない	107人	29%

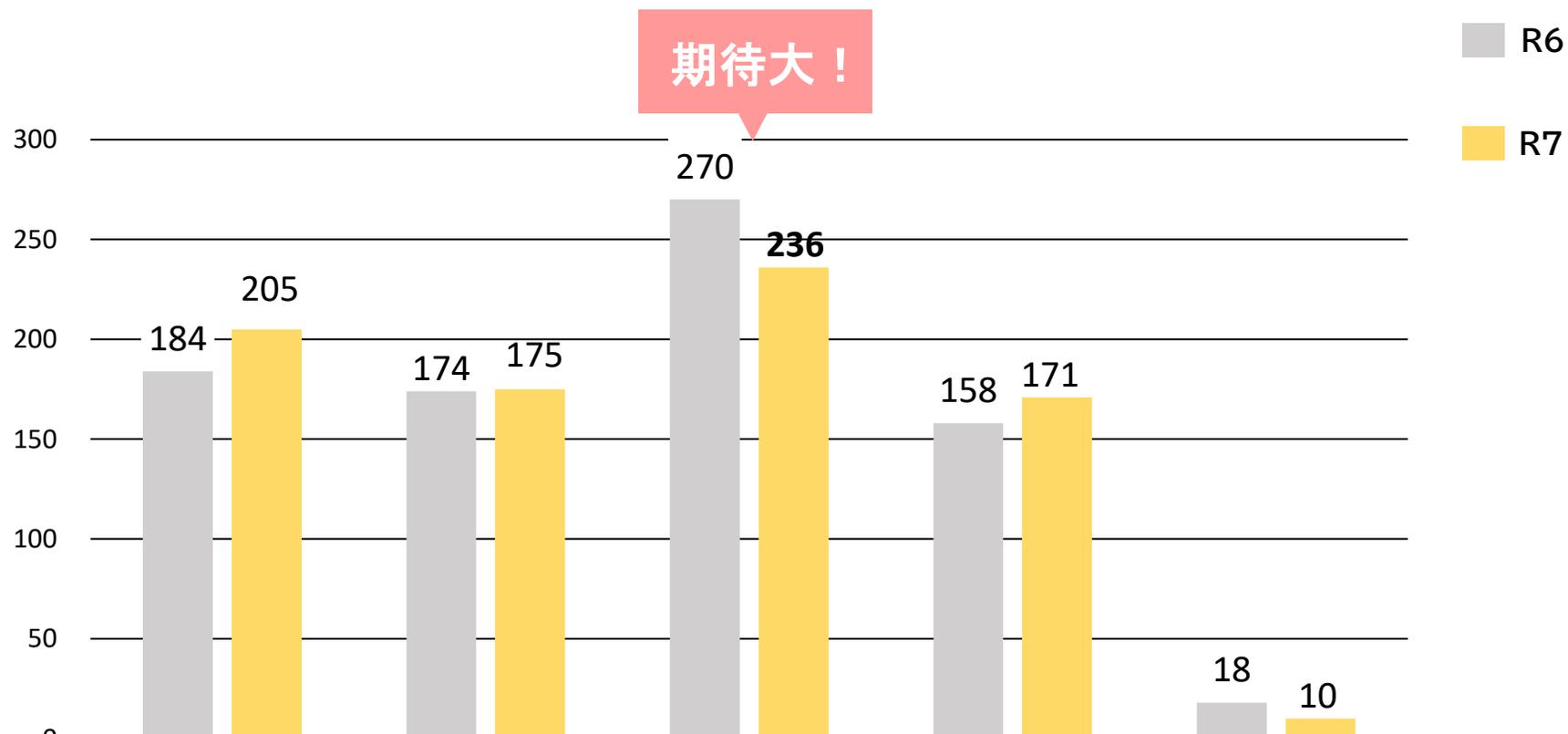
「ふくおか教育月間」記念イベント等に

約7割の方が

参加したい(してみたい)と回答しています

# 問4 教育に対する関心と理解を深めるために、県に対してどのような施策を期待しますか。 (または有効だと思いませんか。)

(n=369、複数選択可)



	学校の取組や行事を紹介する広報誌等の充実	ポスター、チラシ、SNSなどを活用した広報宣伝活動	一般参加が可能なイベント等の開催	保護者以外の地域の方なども参加可能な学校行事の実施	その他
R6	184	174	270	158	18
R7	205	175	236	171	10

主な意見(抜粋)

- 地域の大人が授業やキャリア教育に参加できる仕組みづくり
- 教育コンテンツの充実

# 問6 「ふくおか教育月間」について、これまでの設問以外に意見はありますか。

(n=106)

## 「ふくおか教育月間」やイベントについて

- まだ子供が間もないことから、あまり理解をしていなかった。就学前から知っておきたい情報もあると思うし、逆に関わる事が無くなった世代でも学んで損はない取り組みだと感じました。
- 教育は年齢に関係なく必要だと思う。イベントを開催し有名人の講演会などを聞く機会を設ける事も良いと思うが、各地域でイベントを開きその企画や運営を地域の方をお願いすることで新たな学びが出来るのではないか。また、大学などとコラボして各大学の研究の公開や大学講師の講演などを企画してはどうか。
- 学校を開放して、地域と一体化出来るイベントを増やすのも良いと思う。
- 通年で気軽に参加出来るセミナーがあれば参加したい。有名な講師ではなく、県内の現役の教師、職員等の話は聞いてみたいと思う。
- 子どもたち自身が主役となる場づくり、子どもたちが自分たちの学びや思いを発信できるプレゼンテーションや展示会、動画発信などを取り入れることで、教育を「受けるもの」から「共につくるもの」へと意識が変わると思う。学校現場の課題(いじめ、不登校、ICT活用の遅れなど)にも焦点をあて、地域ぐるみで「よりよい教育環境とは何か」を考える機会として活用すべき。
- 教育と言うと、あまりに範囲が広いので、年ごとに具体的なテーマを決めたほうが良いと思う。また、保護者に関心を持たせる事が、最大のテーマと思う。
- 子どもがいない世帯にとっては関係ないと考えがちなので全世代に楽しんでもらえるイベントが各地域であったらよいと考える。

等

## 情報発信について

- ふくおか教育月間とミライルについて全く知りませんでした。今回初めてミライルを知りましたが、とても良い魅力的なキャラクターだと思います。ミライルをもっとSNSや動画サイトなどで積極的に活用していけば良いと思います。
- 周囲に「ふくおか教育月間」を知っている人が少ないので、今後の広報活動に期待したい。
- 我が家は0歳の子供がいます。今回初めてこのような取り組みが行われていることを知りましたが、子どものためにも、このような情報を早い段階で知っていきたく感じました。そのため、学校に通学している世代や家族だけでなく、未就学児やその家族に対して発信や触れる機会を設けてほしいと思いました。

等

## その他

- 地域の連携やつながりが大切だと考えます。
- 少子化により、児童・生徒の絶対数が減少しているので、保護者家族だけでなく、地域で守り育てる意識を持つような呼びかけを行うとよい。
- 子どもの教育月間と同時に、福岡県内の教職員の支援や定着にも、力を入れてほしい。教職員がいなければ、子どもの教育は成り立たないから。
- 教育は子どもだけのものではないと思う。大人も日々アップデートしていかなければならない。よって、大人のための学校を開校すると多くの大人が通いたいと感じると思う。一般の会社に勤めていた人や農業従事者などを講師とし、人生の中からの学びを教えてください。
- 生まれ育ったところが田舎だったため、運動会などの行事は地域と一緒に行われていました。今のご時世では難しいとは思いますが、教育機関と地域が繋がることは今後より必要なのではと思います。
- 学校は業務量が増えすぎて職員は限界を超えて働いています。学校に任せるのではなく、行政主体でできることをやって下さい。
- 子どもたちの頑張る姿は本当に素敵です。高校生の部活動の姿など積極的に発信してほしい。小さな子たちの憧れにもなるし、大人も元気がもらえると思う。
- 保護者以外でも参加可能な学校行事を増やしてほしいと思います。

等